

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

今年も「買い難い時こそ買える株」の出番だ！



先週にジャクソンホールでのバーナンキFRB議長講演を確認。追加緩和期待が高まるも中国经济指標の不振が明らかとなり、株式相場ではイベント警戒からの見直しが期待されたものの、引き続き軟調展開を余儀なくされている。

さらに今週は欧州金融政策を占うECB理事会の開催が予定されているほか、金曜日的重要指標・米雇用統計を控える。来週にも追加緩和実施が期待される連邦公開市場委員会(FOMC)、メジャーSQ、シルバーウィークの週末三連休と重要イベントが目白押し。外部要因は引き続き波乱含みで推移しそうだ。

このままイベント注視の流れで「買い難い」印象があるものの、昨年同時期のコラムも「買い難い時こそ、買える株もある！」として、外部要因の影響を受けやすい中核銘柄を避け、参加者限定で賑わう銘柄群に注目するスタンスを紹介したが、今年も「買い難い相場でこそ買える株」の出番が到来しそうだ。

そこで弊社では、軟調な全体相場に反して、活発な資金循環を見せる「低位材料株」や「仕手系株」、「バイオ関連」を対象とした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売する。同じく「買い難い相場」となった昨年同時期にも投入し、好結果を残した実績テーマでもある。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。